

高齢者のいのち・健康・人権をおびやかす

「75歳以上の医療費窓口負担2割化の中止を求める意見書」の採択を求める請願書



2022年2月17日

請願提出者 つくばみらい・守谷年金組合

つくばみらい代表

住所



紹介議員

古川よし枝

〔請願の趣旨及び理由〕

2021年6月参議院で、75歳以上の医療費窓口負担2割化法が可決されました。2022年後半から実施されるということですが、後期高齢者医療制度加入者のうち、単身で年収200万円以上、夫婦で320万円以上の高齢者の窓口負担が2割（現在の2倍）になります。

高齢者の生活には様々な状態があります。単身で17万円の年金があっても、家賃や通院・入院・介護に伴う諸経費や仕送り等々様々で、ようやく現在の状態で生活している人がほとんどです。ましてや、それより低い年金なので、生活を維持するために後期高齢者になってもパートなどの収入で補って16万7千円になっている人もおります。また、夫婦で320万円の収入があるが、夫が介護施設に居り、その費用も大変で2割負担になったらやり繰りが大変だとこぼしている方もおります。それぞれの家庭にはそれぞれの事情がある訳で、みんな同じではありません。

政府は、窓口2割負担導入によって、現役世代の負担を軽減する効果があるとしていますが、その効果は現役世代（65歳未満の方）一人年間350円（1ヵ月30円）にすぎません。その額で果たして現役世代の方々の負担軽減と言えるのでしょうか。「若い世代」は給与水準が低いので、保険料も少なく、「支援金に対する抑制効果」はさらに小さくなります。これではとても、政府が根拠として挙げた「若い世代の保険料」を減らすとは言えません。

昨年国会での審議を見ていると、与党内の折衷案で調整されたように思われ、十分な審議を尽くしたとは言えません。

よって、次の意見書を関係機関に提出していただきますよう請願いたします。

〔請願事項〕

- 一、高齢者のいのち・健康・人権をおびやかす「75歳以上の医療費窓口負担2割化の中止を求める意見書」を関係機関に提出すること。

高齢者のいのち・健康・人権をおびやかす

「75歳以上の医療費窓口負担2割化の中止を求める意見書（案）」

2021年6月参議院で、75歳以上の医療費窓口負担2割化法が可決されました。2022年後半から実施されるということですが、後期高齢者医療制度加入者のうち、単身で年収200万円以上、夫婦で320万円以上の高齢者の窓口負担が2割（現在の2倍）になります。

高齢者の生活には様々な状態があります。単身で17万円の年金があっても家賃や通院・入院・介護に伴う諸経費や仕送り等々様々で、ようやく現在の状態で生活している人がほとんどです。ましてや、それより低い年金で、生活を維持するために後期高齢者になってもパートなどの収入で補って、16万7千円になっている人もおります。また、夫婦で320万円の収入があるが、夫が介護施設に居りその費用も大変で2割負担になったらやり繰りが大変だとこぼしている方もおります。それぞれの家庭にはそれぞれの事情がある訳で、みんな同じではありません。

政府は、窓口2割負担導入によって、現役世代の負担を軽減する効果があるとしています。その効果は現役世代（65歳未満の方）一人年間350円（1ヵ月30円）にすぎません。その額で果たして現役世代の方々の負担軽減と言えるのでしょうか。「若い世代」は給与水準が低いので、保険料も少なく、「支援金に対する抑制効果」はさらに小さくなります。これではとても、政府が根拠として挙げた「若い世代の保険料」を減らすとは言えません。

昨年の国会での審議を見ていても、十分な審議で決められたようには思えません。与党内の折衷案で調整されたようです。十分な審議を尽くしたとはいえません。

よって、高齢者のいのち・健康・人権をおびやかす「75歳以上の医療費窓口負担2割化の中止を求める意見書」を提出します。

2022年3月

つくばみらい市議会

意見書提出先

内閣総理大臣

厚生労働大臣

衆議院議長

参議院議長